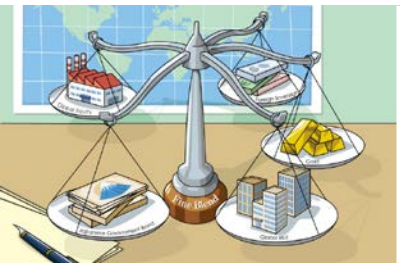
nikko am
Nikko Asset Management

*Fund Information*

販売用資料

2019年1月30日
日興アセットマネジメント株式会社



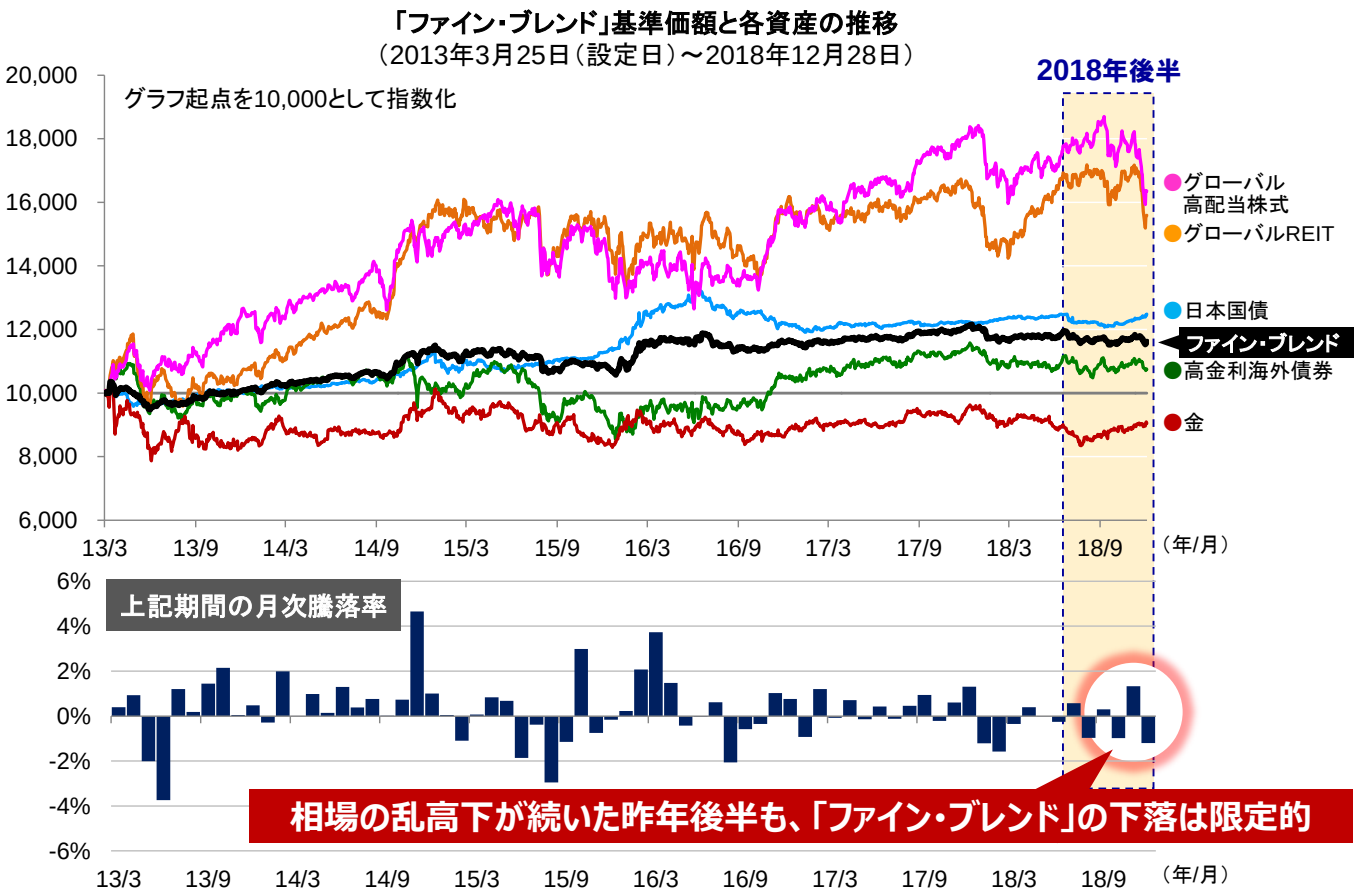
## ファイン・ブレンド（毎月分配型／資産成長型）

# 不安定な局面で、戦略の力を発揮

## ～2018年後半の運用状況～

2018年後半（7～12月）の金融市場は、前半（1～6月）に引き続き、米長期金利上昇や米中貿易摩擦への懸念が高まったほか、世界景気の鈍化懸念も加わり、相場が乱高下する展開となりました。本資料では、この間の「ファイン・ブレンド」の運用状況について、お伝えいたします。

### 昨年末にかけて変動が高まった金融市場




● 上グラフ「ファイン・ブレンド」の推移は、資産成長型の基準価額です。また、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の税引前分配金再投資ベースの値です。
※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。
※ 使用したインデックスについては、後述をご参照ください。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

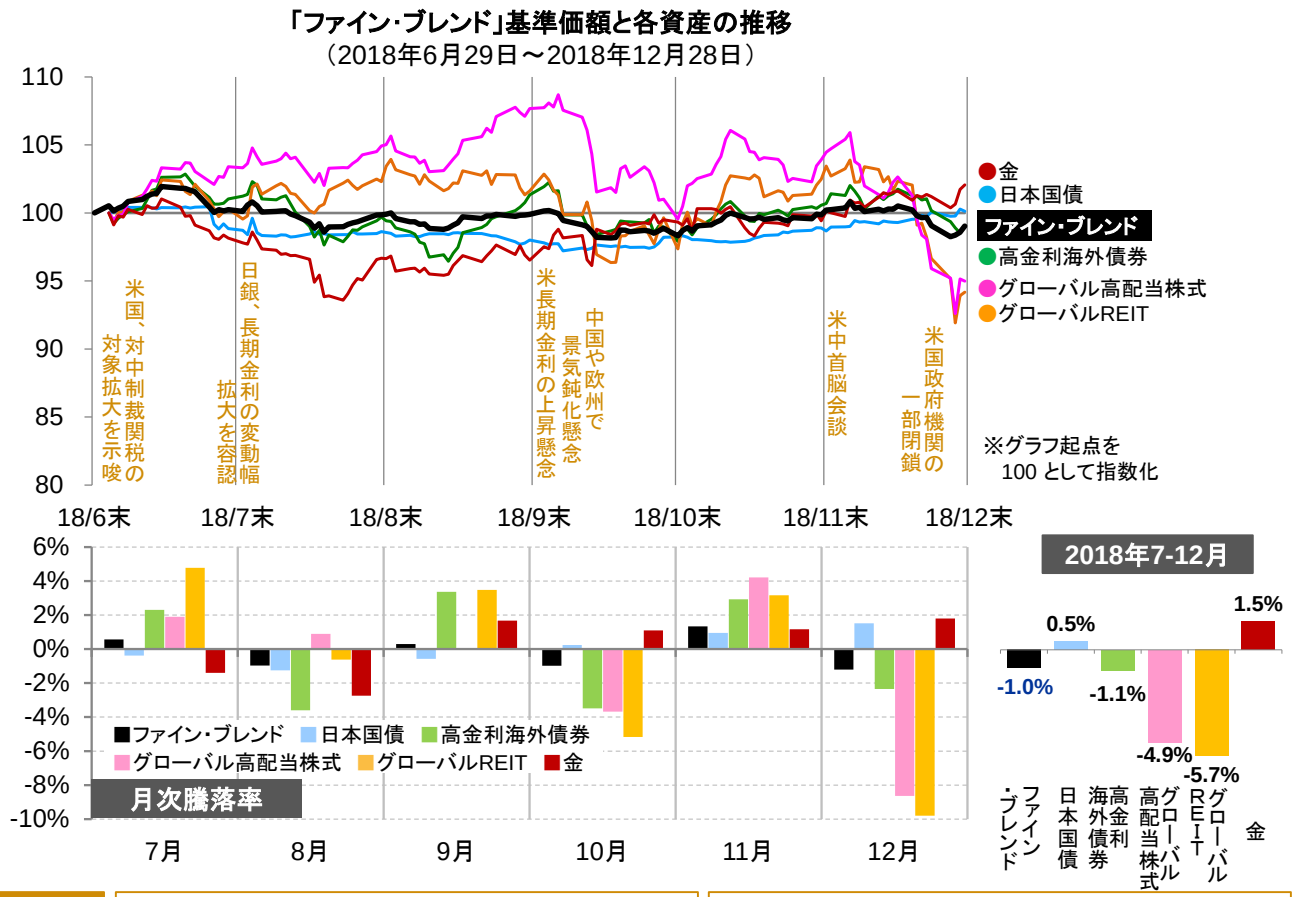
当資料は、投資者の皆様に「ファイン・ブレンド（毎月分配型）／（資産成長型）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

■ マーケットの振り返り ■

# 前半に続き、不安定な展開となった金融市場

- 2018年後半の金融市場は、年前半から続いた米国の金利上昇や米中貿易摩擦への懸念が重しとなったほか、年末にかけては、世界景気の鈍化懸念が色濃くなるなど不透明感が強まったことから、不安定な展開となりました。
- そのため、世界的に投資家のリスク回避姿勢が強まるなか、株式やREIT、高金利海外債券が軟調となった一方、資金の逃避先として、日本国債や金が買われ、堅調に推移しました。

## 安全性資産として選好された「金」と「日本国債」




**ココに注目！**

**金**は、株高や米金利上昇懸念などを背景に、8月にかけて下落しましたが、その後、**先行き不透明感**や**米利上げへの慎重姿勢**が強まると、**堅調な値動きで基準価額を支えました**。

**日本国債**は、９月までは、リスク資産が選好されたことや、日銀決定を受けた金利上昇懸念などから小幅安となりましたが、その後は、**安全資産として買われ、堅調に推移しました**。

※「ファイン・ブレンド」は、資産成長型の信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の税引前分配金再投資ベースの値です。
※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。
※ 使用したインデックスについては、後述をご参照ください。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様に「ファイン・ブレンド（毎月分配型）／（資産成長型）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

■ ファンドの振り返り ■

# 日本国債と金がクッション役となり、基準価額変動を抑制

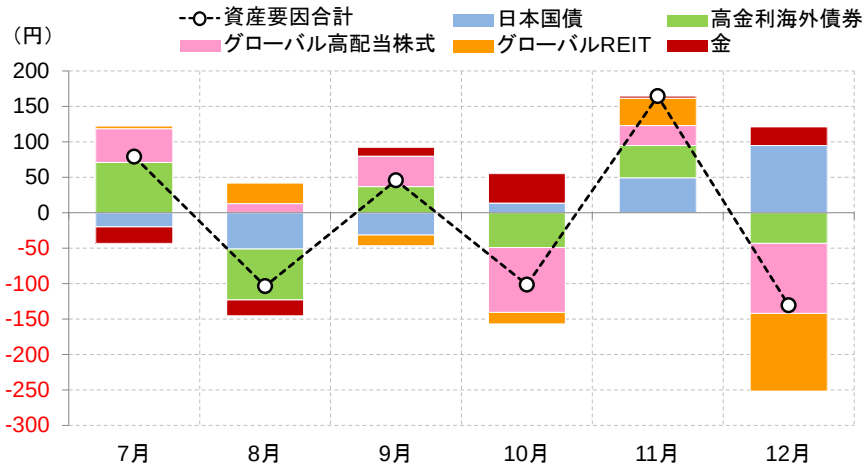
- 2018年7～12月の当ファンドの基準価額は、▲1.0%のパフォーマンス*となりました。

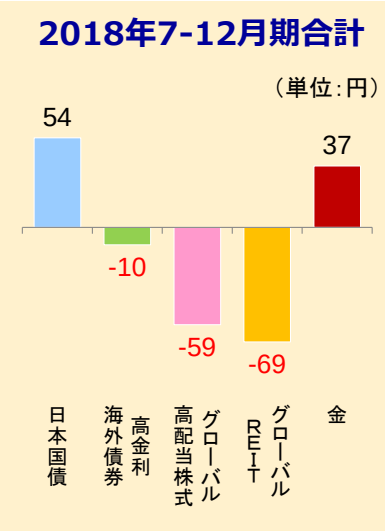
＊毎月分配型ならびに資産成長型。いずれも税引前分配金再投資ベース

- 基準価額騰落の要因分解を見ると、投資家のリスク回避姿勢が後退した局面では、株式や高金利海外債券などが基準価額の押し上げに貢献した一方、相場が乱高下する局面では日本国債や金が力を発揮し、基準価額の下落抑制につながるなど、**局面ごとに各資産の強みが顕著となりました**。

## リスク選好局面では、株式や外債などの上昇が基準価額を押し上げ

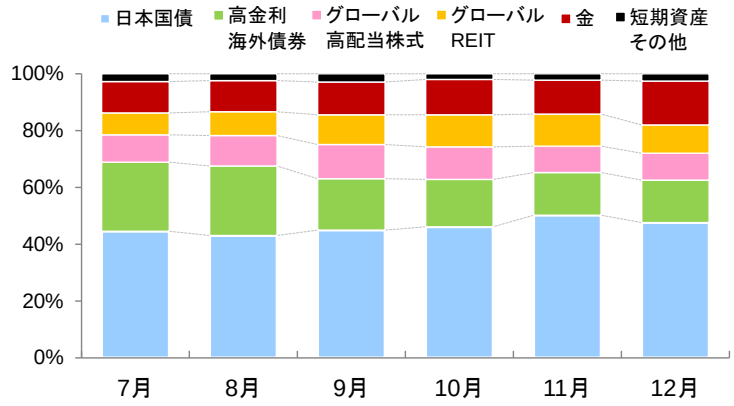
**基準価額騰落の要因分解（市場変動要因）**
（2018年7月～12月）




※ 基準価額は、資産成長型の信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の1万口当たりの値です。
※ 要因分解には掲載要因の他に、分配金の支払い要因、信託報酬などの要因があります。
※ 要因分解は概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧下さい。

## 資産配分の推移




※「資産成長型」の純資産総額比です。

### 資産配分のポイント

当ファンドでは、各資産の影響度が均等となることをめざし、資産配分を決定します。

2018年後半は、市場変動が高まるなか、

- ✓ 価格変動（リスク）が大きく上昇した **海外債券の比率の引き下げ**
- ✓ 相対的にリスクが低水準にあった **日本国債や金の比率の引き上げ**

などを行ないました。

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様に「ファイン・ブレンド（毎月分配型）／（資産成長型）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

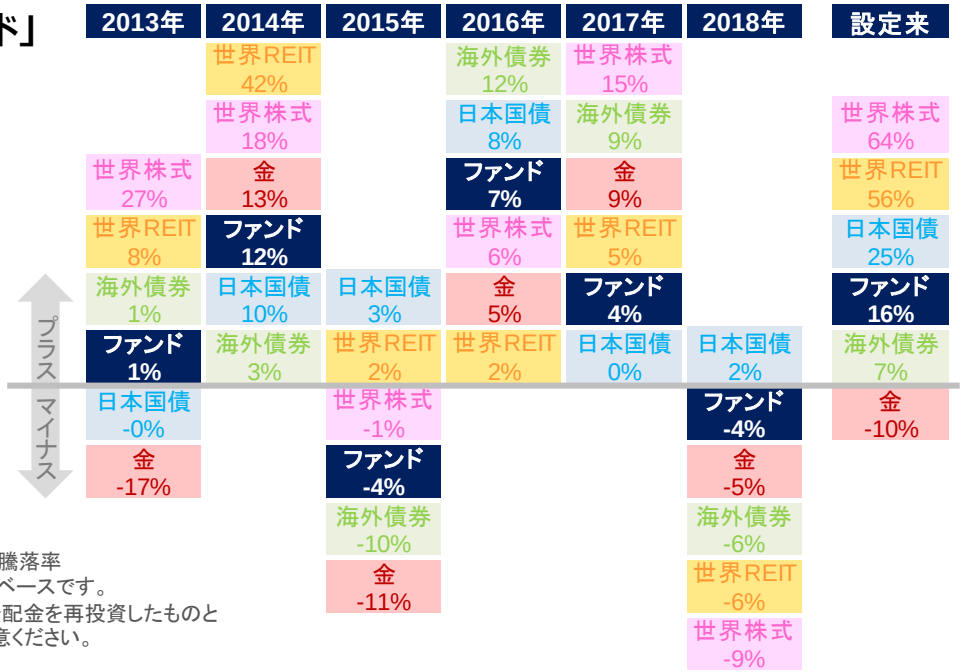
■ あらためて考えたい「ファイン・ブレンド」の魅力 ■

# 投資する5つの資産×ファイン・ブレンド戦略 がカギに

- 当ファンドは、各資産からの価格変動の影響を均等にするため、①単に値動きの異なる資産を組み合わせるのではなく、収益が期待されるリスク資産にしっかり投資を行ないながら、②「リスク（価格変動）」の観点で資産配分を決定することで、値上がり益の獲得と安定成長を図ります（ファイン・ブレンド戦略）。
- こうした運用は、**保有期間が長いほど、投資タイミングや短期的な市場変動の影響が抑えられ、投資成果の積み上げが期待される**ことから、中長期的な資産形成に適していると考えます。

## 「大勝ち」を狙うのではなく、「大負け」せずに着実な収益積み上げをめざす

### 各資産と「ファイン・ブレンド」の年間騰落率




ファンド：ファイン・ブレンド（資産成長型）
海外債券：高金利海外債券
世界株式：グローバル高配当株式
世界REIT：グローバルREIT

※2013年は3月25日（ファンド設定時）からの騰落率
※ファンドの騰落率は、税引前分配金再投資ベースです。
税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

### 【ご参考】各資産間の相関係数

（2013年3月25日～2018年12月末、月次）

| | 日本国債 | 高金利海外債券 | グローバルREIT | グローバル高配当株式 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 日本国債 | 1 | ▲ 0.15 | ▲ 0.07 | ▲ 0.31 | 0.27 |
| 高金利海外債券 | | 1 | 0.60 | 0.79 | 0.08 |
| グローバルREIT | | | 1 | 0.76 | 0.05 |
| グローバル高配当株式 | | | | 1 | 0.05 |
| 金 | | | | | 1 |

＜相関係数の見方＞
▲1（逆相関）逆方向の値動き ◀ 0（無相関）関係ない値動き ▶ 1（順相関）同方向の値動き

相関係数とは、2資産間の連動性を表す指標です。

**ココがポイント！**

- ✓ 資産間の連動性を示す相関係数をみると、**日本国債や金は、他資産と異なる値動き**をしやすいことがわかります。
- ✓ そのため、当ファンドが投資する5つの資産は、**資産分散の有効性が高い**と考えられます。

※ 使用したインデックスについては、後述をご参照ください。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様に「ファイン・ブレンド（毎月分配型）／（資産成長型）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## 当ファンドの運用実績（2013年3月25日（設定日）～2019年1月25日）

### 毎月分配型

**2019年1月25日現在**

| | |
|---|---|
| **基準価額** 税引前分配金再投資ベース | 11,795円 |
| 税引前分配金控除後 | 9,134円 |
| **純資産総額** | 255億円 |

**分配金実績**（税引前）

| 2013/5～2015/4 | 2015/5～2019/1 | 設定来合計 |
|---|---|---|
| 30円/月 | 40円/月 | 2,520円 |

### 資産成長型

**2019年1月25日現在**

| | |
|---|---|
| **基準価額** 税引前分配金再投資ベース | 11,780円 |
| 税引前分配金控除後 | 11,728円 |
| **純資産総額** | 145億円 |

**分配金実績**（税引前）

| 2014/3～2018/3 | 設定来合計 |
|---|---|
| 10円/年 | 50円 |

※ 基準価額は信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の1万口当たりの値です。
※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。
※ 分配金は税引前の1万口当たりの値です。
※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

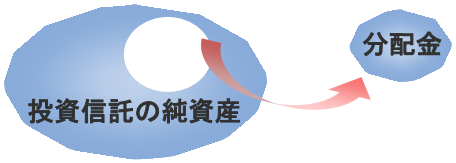
※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

●当資料で使用した各資産のインデックスは、以下の通りです。
日本国債・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・FTSE世界国債インデックス（日本、残存10年以上）
海外債券（高金利海外債券）・・・・・・・ ブルームバーグ・バークレイズ・インターナショナル・ハイインカム・ソブリン・インデックス(ヘッジなし・円ベース)
世界株式（グローバル高配当株式）・・MSCIワールド高配当株式インデックス＊
世界REIT（グローバルREIT）・・・・・・・ S&P先進国REITインデックス（円ベース）
金・・・・・・・・・・・・ ・・・・・・・・・・・・・・・・ ブルームバーグ金サブ指数トータルリターン＊
＊公表されている原指数を円換算して使用。※上記指数は、いずれも当ファンドのベンチマークではありません。
上記指数に関する知的財産権その他一切の権利は各指数の公表企業などに帰属します。また、指数公表企業などは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

# 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

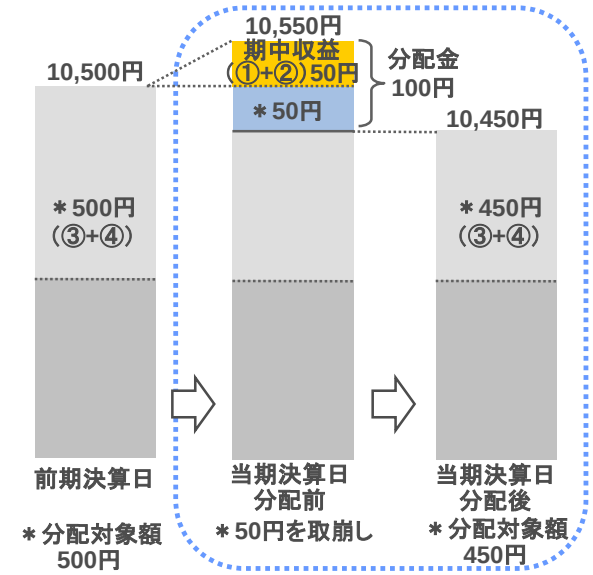
**投資信託で分配金が支払われるイメージ**



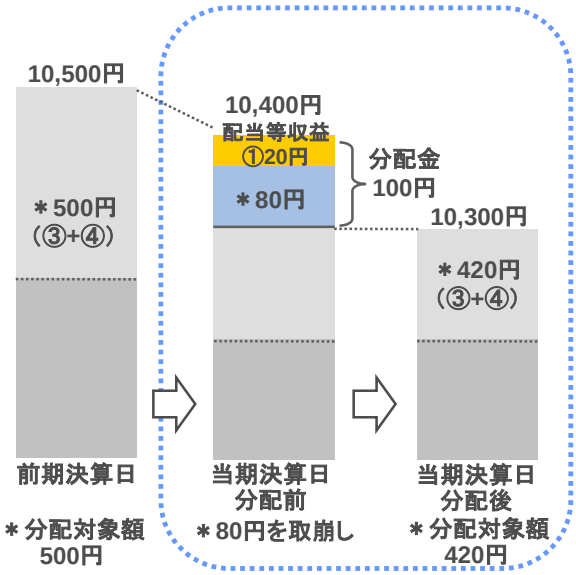

- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

**計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合**

**前期決算から基準価額が上昇した場合**



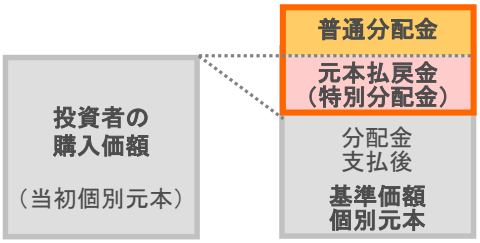

**前期決算から基準価額が下落した場合**



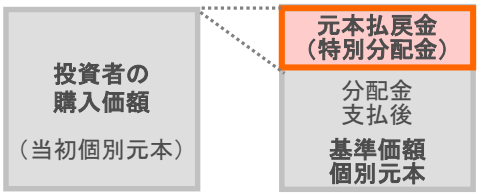

（注）分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

**分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合**




**分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合**




※元本払戻金（特別分配金）は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。
また、元本払戻金（特別分配金）部分は**非課税扱い**となります。

**普通分配金　：　個別元本（投資者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。**
**元本払戻金（特別分配金）　：　個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。**

当資料は、投資者の皆様に「ファイン・ブレンド（毎月分配型）／（資産成長型）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

**ファンドの特色**

1. **主として、収益が期待できる5つの資産を投資対象とし、基準価額の変動を抑えながらも、収益の獲得をめざします。**
2. **基準価額の変動抑制効果を高めながら魅力的な収益を追求することをめざして、5資産の配分比率を決定します。また、この比率は定期的に見直します。**
3. **毎月決算を行なう「毎月分配型」と年1回決算を行なう「資産成長型」があります。**

※ 市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

## お申込みに際しての留意事項

### ●リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に債券、株式、不動産投信および金上場投信を実質的な投資対象としますので、債券、株式、不動産投信および金上場投信の価格の下落や、債券、株式、不動産投信および金上場投信の発行体の財務状況や業績の悪化、不動産および金地金の市況の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

**【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】**

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### ●その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様に「ファイン・ブレンド（毎月分配型）／（資産成長型）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

## お申込みメモ

| | |
|---|---|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／資産複合 |
| 購入単位 | 販売会社が定める単位<br>※販売会社の照会先にお問い合わせください。 |
| 購入価額 | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額 |
| 信託期間 | 2028年3月8日まで（2013年3月25日設定） |
| 決算日 | 【毎月分配型】毎月8日（休業日の場合は翌営業日）<br>【資産成長型】毎年3月8日（休業日の場合は翌営業日）<br>※ 販売会社によっては、どちらか一方のファンドのみの取扱いとなる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 |
| 購入・換金申込不可日 | 販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。<br>・ニューヨーク証券取引所の休業日　・英国証券取引所の休業日<br>・ニューヨークの銀行休業日　・ロンドンの銀行休業日 |
| 換金代金 | 原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。 |

## 手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

**＜申込時、換金時にご負担いただく費用＞**

| | |
|---|---|
| ●購入時手数料 | 購入時の基準価額に対し3.24%（税抜3%）以内<br>※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。<br>※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。<br>※販売会社によっては、ファンド間で、スイッチングを行なうことができる場合があります（スイッチング手数料は販売会社によって異なります）。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 |
| ●換金手数料 | ありません。 |
| ●信託財産留保額 | ありません。 |

**＜信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用＞**

| | |
|---|---|
| ●運用管理費用（信託報酬） | 純資産総額に対し年率1.4479%（税抜1.3525%）以内が実質的な信託報酬となります。<br>信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.08%（税抜1%）、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.3679%（税抜0.3525%）以内となります。<br>受益者が実質的に負担する信託報酬率（年率）は、委託会社が算出した上限値です。当該上限値は、投資対象とする投資信託証券の想定される組入比率に基づき委託会社が算出したものですが、当該投資信託証券の変更などにより見直すことがあります。 |
| ●その他の費用・手数料 | 目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用（業務委託する場合の委託費用を含みます。）、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。<br>組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。<br>※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。 |

※ 投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、投資者の皆様に「ファイン・ブレンド（毎月分配型）／（資産成長型）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## 委託会社、その他関係法人

委託会社　：日興アセットマネジメント株式会社
　金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第368号
　加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
投資顧問会社　：日興グローバルラップ株式会社
受託会社　：三井住友信託銀行株式会社
販売会社　：販売会社については下記にお問い合わせください。
　日興アセットマネジメント株式会社
　〔ホームページ〕www.nikkoam.com/
　〔コールセンター〕0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

## 毎月分配型

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは

| 金融商品取引業者等の名称 | | 登録番号 | 加入協会 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 日本証券業協会 | 一般社団法人日本投資顧問業協会 | 一般社団法人金融先物取引業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 |
| 株式会社イオン銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第633号 | ○ | | | |
| 今村証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 北陸財務局長（金商）第3号 | ○ | | | |
| SMBC日興証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第2251号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 株式会社SBI証券 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第44号 | ○ | | ○ | ○ |
| 岡三オンライン証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第52号 | ○ | ○ | ○ | |
| 岡三証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第53号 | ○ | ○ | | ○ |
| 沖縄県労働金庫 | 登録金融機関 | 沖縄総合事務局長（登金）第8号 | | | | |
| 株式会社鹿児島銀行 | 登録金融機関 | 九州財務局長（登金）第2号 | ○ | | | |
| 株式会社鹿児島銀行<br>（委託金融商品取引業者　九州FG証券株式会社） | 登録金融機関 | 九州財務局長（登金）第2号 | ○ | | | |
| 株式会社神奈川銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第55号 | ○ | | | |
| 九州FG証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 九州財務局長（金商）第18号 | ○ | | | |
| 九州労働金庫 | 登録金融機関 | 福岡財務支局長（登金）第39号 | | | | |
| 株式会社京都銀行 | 登録金融機関 | 近畿財務局長（登金）第10号 | ○ | | ○ | |
| 株式会社きらぼし銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第53号 | ○ | | ○ | |
| 近畿労働金庫 | 登録金融機関 | 近畿財務局長（登金）第90号 | | | | |
| 株式会社京葉銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第56号 | ○ | | | |
| 四国労働金庫 | 登録金融機関 | 四国財務局長（登金）第26号 | | | | |
| 静岡県労働金庫 | 登録金融機関 | 東海財務局長（登金）第72号 | | | | |
| 株式会社清水銀行 | 登録金融機関 | 東海財務局長（登金）第6号 | ○ | | | |
| 湘南信用金庫 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第192号 | ○ | | | |
| 髙木証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 近畿財務局長（金商）第20号 | ○ | | | |
| 株式会社千葉銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第39号 | ○ | | ○ | |
| 中央労働金庫 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第259号 | | | | |
| 株式会社中京銀行 | 登録金融機関 | 東海財務局長（登金）第17号 | ○ | | | |
| 中国労働金庫 | 登録金融機関 | 中国財務局長（登金）第53号 | | | | |
| 東海労働金庫 | 登録金融機関 | 東海財務局長（登金）第70号 | | | | |
| 東北労働金庫 | 登録金融機関 | 東北財務局長（登金）第68号 | | | | |
| 株式会社栃木銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第57号 | ○ | | | |
| 株式会社富山第一銀行 | 登録金融機関 | 北陸財務局長（登金）第7号 | ○ | | | |
| 内藤証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 近畿財務局長（金商）第24号 | ○ | | | ○ |
| 長野県労働金庫 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第268号 | | | | |
| 新潟県労働金庫 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第267号 | | | | |
| フィデリティ証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第152号 | ○ | | | |
| 株式会社豊和銀行 | 登録金融機関 | 九州財務局長（登金）第7号 | ○ | | | |
| 北陸労働金庫 | 登録金融機関 | 北陸財務局長（登金）第36号 | | | | |
| 北海道労働金庫 | 登録金融機関 | 北海道財務局長（登金）第38号 | | | | |
| 松井証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第164号 | ○ | | ○ | |
| マネックス証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第165号 | ○ | ○ | ○ | |
| 楽天証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第195号 | ○ | ○ | ○ | ○ |

（資料作成日現在、50音順）

当資料は、投資者の皆様に「ファイン・ブレンド（毎月分配型）／（資産成長型）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## 資産成長型

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは

| 金融商品取引業者等の名称 | | 登録番号 | 加入協会 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 日本証券業協会 | 一般社団法人日本投資顧問業協会 | 一般社団法人金融先物取引業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 |
| 株式会社イオン銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第633号 | ○ | | | |
| 今村証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 北陸財務局長（金商）第3号 | ○ | | | |
| SMBC日興証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第2251号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 株式会社SBI証券 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第44号 | ○ | | ○ | ○ |
| 株式会社大分銀行 | 登録金融機関 | 九州財務局長（登金）第1号 | ○ | | | |
| 岡三オンライン証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第52号 | ○ | ○ | ○ | |
| 岡三証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第53号 | ○ | ○ | | ○ |
| おかやま信用金庫 | 登録金融機関 | 中国財務局長（登金）第19号 | ○ | | | |
| 株式会社鹿児島銀行 | 登録金融機関 | 九州財務局長（登金）第2号 | ○ | | | |
| 株式会社鹿児島銀行<br>（委託金融商品取引業者　九州FG証券株式会社） | 登録金融機関 | 九州財務局長（登金）第2号 | ○ | | | |
| 株式会社神奈川銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第55号 | ○ | | | |
| 株式会社関西アーバン銀行 | 登録金融機関 | 近畿財務局長（登金）第16号 | ○ | | ○ | |
| 岐阜信用金庫 | 登録金融機関 | 東海財務局長（登金）第35号 | ○ | | | |
| 九州FG証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 九州財務局長（金商）第18号 | ○ | | | |
| 株式会社京都銀行 | 登録金融機関 | 近畿財務局長（登金）第10号 | ○ | | ○ | |
| 京都信用金庫 | 登録金融機関 | 近畿財務局長（登金）第52号 | ○ | | | |
| 株式会社きらぼし銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第53号 | ○ | | ○ | |
| 株式会社きらやか銀行 | 登録金融機関 | 東北財務局長（登金）第15号 | ○ | | | |
| 株式会社京葉銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第56号 | ○ | | | |
| 株式会社佐賀銀行 | 登録金融機関 | 福岡財務支局長（登金）第1号 | ○ | | ○ | |
| 株式会社清水銀行 | 登録金融機関 | 東海財務局長（登金）第6号 | ○ | | | |
| 湘南信用金庫 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第192号 | ○ | | | |
| 株式会社常陽銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第45号 | ○ | | ○ | |
| 髙木証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 近畿財務局長（金商）第20号 | ○ | | | |
| 株式会社千葉銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第39号 | ○ | | ○ | |
| 株式会社中京銀行 | 登録金融機関 | 東海財務局長（登金）第17号 | ○ | | | |
| 株式会社栃木銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第57号 | ○ | | | |
| 株式会社トマト銀行 | 登録金融機関 | 中国財務局長（登金）第11号 | ○ | | | |
| 株式会社富山第一銀行 | 登録金融機関 | 北陸財務局長（登金）第7号 | ○ | | | |
| 内藤証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 近畿財務局長（金商）第24号 | ○ | | | ○ |
| 株式会社長野銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第63号 | ○ | | | |
| フィデリティ証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第152号 | ○ | | | |
| 株式会社豊和銀行 | 登録金融機関 | 九州財務局長（登金）第7号 | ○ | | | |
| 株式会社北陸銀行 | 登録金融機関 | 北陸財務局長（登金）第3号 | ○ | | ○ | |
| 松井証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第164号 | ○ | | ○ | |
| マネックス証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第165号 | ○ | ○ | ○ | |
| 株式会社みちのく銀行 | 登録金融機関 | 東北財務局長（登金）第11号 | ○ | | | |
| 楽天証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第195号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ワイエム証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 中国財務局長（金商）第8号 | ○ | | | |

（資料作成日現在、50音順）

当資料は、投資者の皆様に「ファイン・ブレンド（毎月分配型）／（資産成長型）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。